

3. 農用地造成工事

3-1 耕起深耕

(1) 耕起深の測定状況



留意事項

- 1 mのピンポールをさし込み、残尺で耕起深を測定しているが、測定基準によりつぼ掘りでも測定すべきである。

(2) 耕起状況



留意事項

- 耕起前・後の状況と使用機械がわかりやすい。

撮影方法

- 耕起深や測定状況はもちろんのこと、測定位置が全体のどこに位置するのかわかるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測定位置
- 作業内容
- 設計寸法・実測寸法を記入する。

撮影方法

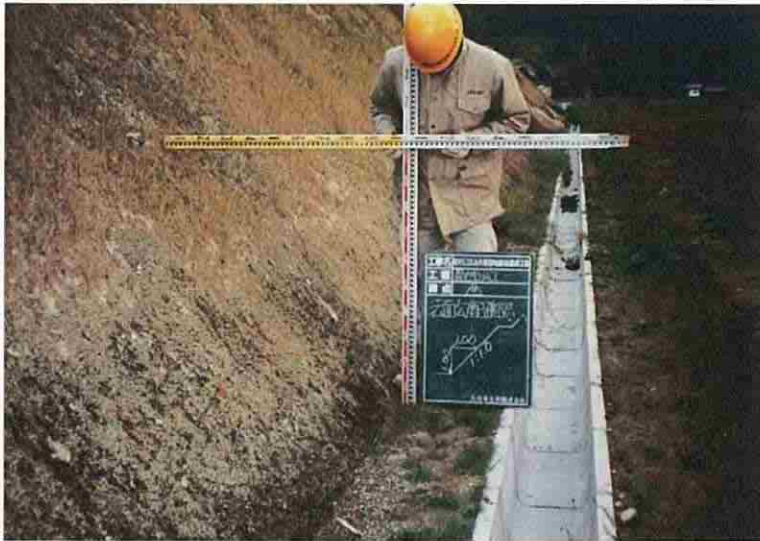
- 使用機械とともに、施工前・施工後の状況がわかるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 施工場所
- 作業内容
- 使用機械名・規格を記入する。

3-2 道路工（耕作道）

（1）法勾配の測定状況



留意事項

- スタッフを縦・横1 mにセットし、正面から撮影しているため、1割の法勾配が確認できる。

撮影方法

- スタッフを水平・垂直にセットして、実測勾配がわかるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測定位置
- 作業内容
- 設計勾配・実測勾配
- 断面略図を記入する。

（2）側溝幅員の測定状況



留意事項

- 出来形の路肩と水路の連続性がわかりやすい。
- 側壁の影で黒板の記入内容が読めない。
- 左端にもあて木・ピンポールなどをあて、測定範囲をわかるようにする。

撮影方法

- 出来形寸法とともに、前後の連続性が確認できるように撮影する。
- ロッド・ピンポールなどを用いて断面がわかるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測点
- 作業内容
- 設計寸法・実測寸法
- 断面略図を記入する。

3-3 改良山成

(1) 基準高の測定状況



留意事項

- ほ場全体が把握しやすい位置にレベルを設置している。
- レベルとスタッフを用いた作業状況がわかりやすい。

撮影方法

- 測定対象ほ場とともに、測定状況がわかるようなアングルで撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測定位置
- 作業内容
- 設計寸法・実測寸法を記入する。

(2) 石礫除去の状況



留意事項

- 作業状況の前方から撮影しているため、作業状況がわかりやすい。
- ほ場面の石礫の程度がわかるようなアングルで撮影している。

撮影方法

- 石礫除去の作業とともに、ほ場面の全体状況が把握できるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 施工場所
- 作業内容を記入する。